

# 地方再生に向けた公文書管理

今、地方の再生が大きな課題となっています。地方再生は住民一人一人が共同体の一員であることを自覚することから始まります。そのためには、地域の歴史を共有し行政へ積極的に関わることが必要です。今回の公開フォーラムでは地域の歴史を共有するとともに、いかに住民が行政へ参加していくか、そのあり方について考えていきます。

東日本大震災から6年余が過ぎて開催する本フォーラムは、地域の復興に目を向け、公文書管理と活用の意義を改めて見直すとともに、適切な公文書管理の意義を協議していきます。

この地震・津波災害の記憶と経験をいかに未来に継承し、次代の社会を築き上げていくのかを考える契機としたいと願っています。

皆さまの参加を心よりお待ちしております。

平成29年5月12日（金）13:00～17:00

## ■プログラム

13時～

開会のあいさつ 釜石市長 野田武則

13時55分～ 趣旨説明・報告1

これからの被災文書レスキューと震災アーカイブズのあり方

国文学研究資料館 青木 陸 准教授

13時55分～ 報告2

熊本地震 震災アーカイブズ収集の取り組み

熊本森都心プラザ図書館 河瀬 裕子 館長

14時40分～ 報告3

公文書を活用して地方再生を図るために

国文学研究資料館 加藤 聖文 准教授

15時15分～ 報告4

天草アーカイブズにおける公文書の移管と評価選別

天草市総務部総務課 天草アーカイブズ管理係 橋本 竜輝 主任

15時50分～ 報告5

公文書管理法 を活かした新設アーカイブズ-大仙市の事例から-

大仙市総務部総務課 アーカイブズ 高橋 一倫 主席主査

16時30分～ コメントと質疑応答

神戸大学 奥村 弘教授・いわて高等教育コンソーシアム地域研究推進委員

会場：釜石PIT（釜石情報交流センター）

（岩手県釜石市大町1丁目1番10）

[入場無料、市民の方々・区市町村等行政の関係者や文化財関係者]

主催：国文学研究資料館3研究グループ

共催：釜石市、いわて高等教育コンソーシアム

主催の国文学研究資料館3研究グループは、次の研究組織です。・国文学研究資料館基幹研究「アーカイブズと地域持続に関する研究」・人間文化研究機構広領域連携型基幹研究「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的研究」・科学研究費補助金基盤研究(A)「地域社会還元型の公文書活用システム構築に関する学際的研究」

2013年11月17日に第1回、「公文書保存の意義と実態-なぜアーカイブズは必要なのか-」を開催しました。今回もいわて高等教育コンソーシアムと国文学研究資料館3研究グループが協働し、Part.2として開催する企画です。

問い合わせ先：nijlarchives@gmail.com

